

## 女性の管理職 県は全国下位

毎年六月二十三日～二十九日は、男女共同参画週間だ。男女共同参画とは、性別にかかわらず、職場や学校などで個性と能力を発揮できる社会を目指すことで、政策としては女性の活躍推進に主眼が置かれる。組織や地域の政策・方針決定過程に関わる女性の割合でみると、三重県は全国で中位または下位にある。

総務省の調査では、県内の管理職（管理的職業従事者）の女性比率は14.9%で全国二十二位。「会社などの役員を除く雇用者」では、4.9%で三十四位にとどまる。内閣府の調査では、県の地方公務員管理職女性比率は9.4%、県審議会等委員は29.3%で、いずれも全国平均より低い。県内上場企業では、女性役員がゼロまたは一割以下が六割を占める。

資本市場では、女性活躍推進企業が評価される動きが加速している。経済産業省などが女性活躍推進に優れた企業として選定する「なでしこ銘柄」の業績は市場平均を上回る。企業などの女性活躍状況は、就職活動での選別指標の一つとなっている。人口減による人材不足などの観点からも、地域や企業における女性活躍は、今後も重要度を増していくだろう。

（コンサルティング事業部 調査グループ 主任研究員 谷ノ上千賀子）

### 政策・方針決定過程に関わる役割における女性の比率

	三重県	全国平均	全国順位
管理的職業従事者のうち 会社などの役員を除く 雇用者 ※1	4.9%	7.7%	34位
県の地方公務員管理職 ※2	9.4%	11.1%	28位
県の審議会等委員 ※2	29.3%	33.3%	43位

※1 総務省、2017年10月 ※2 内閣府、20年4月

※グラフは中日新聞記事より転載

中日新聞「データを読む（百五総合研究所 谷ノ上千賀子さんに聞きました）」

2021年6月3日